

ニュース・結果

■第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 ～本町チーム 町の部準優勝～

福島県内を縦断するコースを一本のたすきでつなぐふくしま駅伝は11月20日、白河市総合運動公園陸上競技場をスタートし、県庁をゴールとする16区間

96.2キロで開催され、本町チームが総合11位、町の部準優勝と健闘し、町民や沿道で応援した観客などに感動と勇気を与えました。



写真左 全力を尽くしてアンカー遠藤康明選手(国士館大4年)にタスキをつないだ15区長谷川朱子選手(会津学鳳中3年)



写真右 8区長谷川尚太選手(猪苗代中3年)から9区武藤こころ選手(猪苗代中2年)にリレー



解団式で準優勝の結果を報告した選手たち

■「百人一首に挑戦」講座に述べ50人が参加

7月16日から11月19日まで、計5回開催された「百人一首に挑戦」講座。延べ50人が参加し、百人一首とは何か、作者たちの人となりや遊び方などを学びました。講座の最後には「百人一首かるた大会」が開かれ、54枚を獲得した熊倉久子さんが初代チャンピオンの栄誉に輝きました。大会にはガールスカウトの皆さんも参加し、かるたを楽しみました。講師の鈴木先生は「百人一首は千年も前の文学がベースになっている文化遺産。小さい子どもからお年寄りまでそらんじている。今だからこそ大切な文化的講座であり、とてもいい時間が持てた」と話しました。



大会に参加したガールスカウトの皆さん

イベントのお知らせ

■おいしく楽しくクッキング

身近な食材でできる家庭料理をテーマに、料理教室を開催します。参加を希望する人は1月20日(金)までに学びいなに申し込んでください(計4回)。

- 第1回：1月26日(木) 午前9時30分～午後1時
万能調味料「塩麴」の作り方とその活用レシピ
講師：宗像晴枝先生
- 第2回：2月2日(木) 午前9時30分～午後1時
冬野菜でポッカポカ！韓国家庭料理
講師：田中由美先生
- 第3回：2月14日(火) 午前9時30分～午後1時
身近な食材を使ってできる生活習慣病予防食
講師：星 久子先生
- 第4回：2月28日(火) 午前9時30分～午後1時

地産地消の勧めと食育を考える

講師：山際博美先生

※会場は学びいなの調理研修室。参加費は材料費の実費負担で各回とも700円程度です。

※定員は各回20人(希望する回だけの申し込みもできます。申し込み時に希望する回をお知らせください)

■「八重の桜」シンポジウムを開催

同志社創立者の新島襄の妻、元祖ハンサムウーマンとして知られる新島八重の一生を描くNHK大河ドラマ「八重の桜」。来年の放送に先駆け2月18日、学びいなで「八重の桜」シンポジウムを開催します。新島襄の研究者、本井康博先生の講演やマラソンランナーの高橋尚子さんなどが出演予定です。詳細は決まり次第お知らせします。

猪苗代町体験交流館からのお知らせ

■猪苗代湖のしぶき氷講座を開催します

猪苗代湖には、世界でも大変珍しい「しぶき氷」ができます。そこで、学びいなでは「しぶき氷講座」を開催します。参加は無料です。この機会にぜひ猪苗代湖の貴重な自然現象を勉強しませんか。

- 日時：①1月19日(木) 午前9時30分～午前11時30分
②1月31日(火) 午前9時～正午
③2月7日(火) 午前9時～正午
- 場所：①学びいな 研修室 ②学びいな集合⇒天神浜へ
③学びいな集合⇒猪苗代湖へ
- 内容：①どんなものが、どのように、どこの場所にできるのかを勉強しよう。
②天神浜に実際に行って勉強しよう。
③猪苗代湖の天神浜以外のしぶき氷を見てみよう。
- 申し込み：1月16日(月)までに学びいなに申し込んでください。講座は①～③の計3回開催しますが、②と③については人数に限りがありますので、申し込みの際に確認してください。



しぶき氷までの道のりを歩く



天神浜周辺のしぶき氷の様子

図書室からのお知らせ

■新刊図書入荷について

ただいま図書室では「東日本大震災関連本」「クリスマス本」のコーナーを作成しております。また「こんな本が読みたい」などのリクエストをお待ちしております。

【12月到着予定の図書】 ●謎解きはディナーのあとで2 ●マスカレードホテル ●スティーブ・ジョブズI, II ●わかりやすい会津の歴史 上下 ●連合艦隊司令官山本五十六 その他「奇跡の一本松」「真田三代」「舟を編む」「境遇」などのベストセラー、手

芸の本、紙芝居や絵本など約170点の入荷を予定しています。

【お知らせ】24年2月10日～12日の3日間、本町と郡山市を会場にスペシャルオリンピック日本冬季ナショナルゲームが開催されます。大会の開催に伴いまして、図書室をお休みいたします。ご不便をおかけしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。なお、返却ボックスへの返却は可能です。また、2月9日(木)は午後5時で利用を終了させていただきます。

教育委員会コラム

第二十一回

国会には、常に多くの法案が提出される。審議、議決を経て法律として制定され、天皇の国事行為の一つとして公布される。具体的には、法律番号が付き「官報」掲載をもって事実上の公布となる。常に膨大で、内容は多岐にわたり細部におよぶ。本町でも国の動きに連動して、条例や規則等の改廃が頻繁に行われる。各種の法令集や例規集は、部厚くなる一方である。

「畑打ちや法三章の札の下」という与謝蕪村の句がある。

昔、漢の高祖劉邦が、秦の首都咸陽を落とした時、煩雑な秦の法律を直ちに全廃し、殺人、傷害と窃盗のみを禁じる、たった三条の法律に改めたと伝えられる。蕪村の句は、うらかな春の日、わずか三条の高札の下で、何事もなく畑仕事に打ち込む人々の平和な様子を詠んだものである。

現代社会は、すべてにわたり法律を背景として解決に導く仕組みで、複雑化の一途を辿っている。権利の拡張や自己利益誘導のみを追求する中で、限らない競争が起これり、お互いを信頼するといふ一番大切な視点が人間から奪われてしまったためではないだろうか。

大震災、原発事故後は、特に既存のルールの通用しない状況が増え、法や規則の改廃が相次ぎ、分かりにくいことが極めて多い。大原則と信頼感に基づく、分かりやすい解決方法はないものだろうか。